

2019年度事業実績

1. 研究所員会の開催

2019年度研究所員会は、次のとおりに開催された。

- (1) 4月25日（木）17：30～18：00、第2講義棟第4会議室にて
2019年度の特別研究（経済研究所所長推薦）の申請があり了承された。新運営委員1名が承認された。新客員研究所員1名が了承された。
- (2) 6月27日（木）16：30～16：45、第2講義棟第4会議室にて
審議事項は特になかった。
- (3) 9月19日（木）15：35～15：45、第2講義棟第4会議室にて
2019年度のシンポジウム実施要領案が了承された。『所報』表紙の前年度表記を発行年に変更することが了承された。
- (4) 10月17日（木）16：30～16：50、第2講義棟第4会議室にて
客員研究所員1名の継続が承認された。
- (5) 1月24日（木）16：30～17：00、第2講義棟第4会議室にて
経済研究所運営経費の用途について、経営学関連書の購入案が承認された。2020年度の予算案が承認された。
- (6) 3月6日（金）16：30～17：00、第2講義棟第4会議室にて
大山明男所員を次期経済研究所所長として推薦することが承認された。客員研究所員5名の継続が承認された。

2. シンポジウムの実施

2019年度の経済研究所主催シンポジウムが、次のとおり開催された。

11月29日（金）13：20～14：50、第2講義棟14階会議室

小澤伸光経済経営学部教授による基調講演（「観光ビジネスと人材育成の基本的な課題」）と、三垣和典氏（駿河台大学特任教授・ホテルグランヴィア京都総務部顧問、元マーケティング本部長）、村澤彰氏（駿河台大学特任教授・「横浜赤レンガ」初代社長）の2名をパネラーに迎えた3名と町田欣弥経済経営学部教授のモデレーターで討論会を開催した。

3. 研究会の実施

2019年度の研究会は、6月27日（木）16：30～18：30に第4会議室で次のとおり開催された。

孔炳龍「時価会計を考える—一般意味論と操作主義を中心として—」

小沢伸光・町田欣也「地域雇用創出と観光ビジネス—京都市と横浜市を例にして—」

高垣行男「中小企業におけるイノベーション—ローカルからグローバルへ—」

4. 2019年度の特別研究助成費（経済研究所所長推薦）

経済研究所所長推薦として申請した次の研究に交付された。

研究代表者：八田 真行

共同研究者：高垣 行男、渡辺 裕子、南林さえ子、
ヤニカ バッハマン

研究課題：消費者に関する諸課題の研究：消費行動の構造、消費者保護、地域マーケティングについて